

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）中間評価調査書

都道府県名	栃木県	事業実施主体	宇都宮市	地域再生計画名	宇都宮市清らかな水環境再生計画
計画期間	平成29年度～令和3年度	評価責任者	宇都宮市上下水道事業管理者		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	年度	中間実績	基準年度	年度		指標総数	達成数		
	宇都宮に愛着がある人の割合の向上		63.7%	H27	75.0%	R1	78.6%	75.0%	R3	○	2	1	基準年度から向上し、中間目標を達成している。
	宇都宮市人口ビジョン予測人口の減少緩和		517,760人	H27	518,460人	R1	517,865人	518,460人	R3	△	2	1	中間目標値を若干下回っているが、引き続き、計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。 ※中間実績値については、「推計人口」によるもの
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度(R1)	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	公共下水道（整備延長）		6,389m	1,662m	6,389m	当初計画に対し、土地区画整理事業の面整備に合わせた下水道整備を実施しているため、遅れが生じているが、今まで以上に連携を図りながら整備を促進するなど、目標達成に向け、整備を進めていく。（進捗率26%）							
	公共下水道（受入施設）		1箇所	0箇所	1箇所	当初計画に対し、地下水位の影響により、施工方法や工程等を見直しており、令和2年度には整備が完了する見込み。（進捗率56%）							
	個人設置型浄化槽		1,441基	742基	1,441基	当初計画に対し、新築住宅への設置は順調である一方、既存住宅における転換数数が想定を下回っている。水環境保全を図るため、補助を拡充して転換促進に取り組んでおり、引き続き、計画に則した整備を目指していく。（進捗率51%）							
その他の事業	汚水処理事業における普及啓発等の推進	公共下水道の接続促進、合併処理浄化槽の普及啓発のため、普及啓発活動やPR活動を実施	公共下水道の接続促進、合併処理浄化槽の普及啓発のため、普及啓発活動やPR活動を実施			公共用水域の水質保全への意識向上を図るため、公共下水道未接続世帯や単独処理浄化槽・くみ取り便槽使用世帯への戸別訪問の実施や、広報紙・ラジオ放送など様々な媒体の活用により、普及啓発活動を実施している。							
	下水道普及率（汚水）の向上	下水道整備を行い、普及率の向上により、良好な生活環境の創造や、公共用水域の水質保全を図る	下水道整備を行い、普及率の向上により、良好な生活環境の創造や、公共用水域の水質保全を図る			公共用水域の更なる水質改善に向け、土地区画整理事業や道路事業と情報共有を図り、効率的に下水道整備を推進している。							
	定住の促進	人口の定着や、移住の促進を図るため、若年夫婦等への家賃補助や、U・I・ターン起業促進の補助を実施	人口の定着や、移住の促進を図るため、若年夫婦等への家賃補助や、U・I・ターン起業促進の補助を実施			移住検討者に本市への興味・関心を持ってもらうため、移住・定住アプリやパンフレットによる情報発信に取り組むとともに、移住・定住の後押しとなるような各種支援事業（移住・就業・就業支援金など）を実施するなど、移住検討者の熟度に応じた対応を図っている。							
	都市のブランド化の推進	情報発信・発信拠点の活用促進や、シティセールスの強化、市民参加型事業を推進	情報発信・発信拠点の活用促進や、シティセールスの強化、市民参加型事業を推進			「宇都宮ブランド戦略第3期アクションプラン」に基づき、宇都宮の愉快な魅力をストーリー化して伝える「愉快な5UPプロジェクト」を推進し、宇都宮の良さを知ってもらう「認知」、宇都宮を好きになってもらう「信頼」に係る各取組を行っている。							
計画外で独自に実施した事業													
③評価方法	「宇都宮市上下水道事業懇話会」の有識者委員に付議し、中間目標値の実現状況等に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	宇都宮市上下水道局のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画については、公共下水道や浄化槽の整備推進による良好な住環境の創出を通して、定住人口の増加を図りつつ、清流と緑に囲まれた暮らしやすい快適な循環型社会の形成を目指すものであり、事業の着実な進捗が、住環境の高い満足度を維持していくことによって、指標1の「宇都宮に愛着のある人の割合」の向上に寄与しているものと考えられる。引き続き、本計画に位置付けた事業を着実に推進することにより、指標2の「定住人口」の増加にもつなげていく。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）												
	令和3年度予算要望額への反映（有・無）												
	有りの場合の増減額					千円							
⑦今後の方針等に対する対応	公共下水道事業について、計画的かつ着実な工事発注に努めるとともに、浄化槽事業について、戸別訪問や広報媒体の活用により、補助制度の周知を図ることや、水質保全の重要性についての普及啓発に係る取組を進めることで、引き続き、計画に則した整備を目指し、さらには、汚水処理施設の整備を良好な住環境の創出に繋げ、快適な循環型社会の形成を推進していくことで、最終目標の達成を目指していく。												